



寫眞は當日の記念撮影

地方點描

農村青年の雄叫び

ブローミツソン聯盟主催

ブローミツソン聯合青年團第

二回支部對抗辯論大會(全

伯ノロ支部大會選舉)

去る三月廿五日午前九時四

十分より括組上場幕にゆか

り深きボンスセラソ小學校

に於て華々しく開催された

村男女青年辯士は五百余の

男女青年辯士は五百余の

十人を前に、交々起つて農

農業を學ぶを終つた

村男女青年辯士は五百余の

十人を前に、交々起つて農

農業を學ぶを終つた

尊兄側清水八郎の祝辞
導員吉田真典氏挨拶あり、
愛國行進曲合唱、河野章理事
長閉會の辞をもつて萬歳三
喝午後五時半大會裡に開

會した
一等選手訪ねて
一等ボンセ安永伯雄

二等吾等の使命
二等ボンセ安永守雄

三等第一世の女性として
三等ボンセ安永和美

四等第二世の覺悟
四等ボンセ安永重郎

五等第三世の女性として
五等ボンセ安永西川福美

六等第四世の女性として
六等ボンセ安永吉松鳥江

七等第五世の女性として
七等ボンセ安永和美

八等第六世の女性として
八等ボンセ安永重郎

九等第七世の女性として
九等ボンセ安永西川福美

十等第八世の女性として
十等ボンセ安永吉松鳥江

十一等第九世の女性として
十一等ボンセ安永和美

十二等第十世の女性として
十二等ボンセ安永重郎

十三等第十一世の女性として
十三等ボンセ安永西川福美

十四等第十二世の女性として
十四等ボンセ安永吉松鳥江

十五等第十三世の女性として
十五等ボンセ安永和美

十六等第十四世の女性として
十六等ボンセ安永重郎

十七等第十五世の女性として
十七等ボンセ安永西川福美

十八等第十六世の女性として
十八等ボンセ安永吉松鳥江

十九等第十七世の女性として
十九等ボンセ安永和美

二十等第十八世の女性として
二十等ボンセ安永重郎

二十一等第十九世の女性として
二十一等ボンセ安永西川福美

二十二等第二十世の女性として
二十二等ボンセ安永和美

二十三等第二十一世の女性として
二十三等ボンセ安永重郎

二十四等第二十二世の女性として
二十四等ボンセ安永西川福美

二十五等第二十三世の女性として
二十五等ボンセ安永和美

二十六等第二十四世の女性として
二十六等ボンセ安永重郎

二十七等第二十五世の女性として
二十七等ボンセ安永西川福美

二十八等第二十六世の女性として
二十八等ボンセ安永和美

二十九等第二十七世の女性として
二十九等ボンセ安永重郎

三十等第二十八世の女性として
三十等ボンセ安永西川福美

三十一等第二十九世の女性として
三十一等ボンセ安永和美

三十二等第三十世の女性として
三十二等ボンセ安永重郎

三十三等第三十一世の女性として
三十三等ボンセ安永西川福美

三十四等第三十二世の女性として
三十四等ボンセ安永和美

三十五等第三十三世の女性として
三十五等ボンセ安永重郎

三十六等第三十四世の女性として
三十六等ボンセ安永西川福美

三十七等第三十五世の女性として
三十七等ボンセ安永和美

三十八等第三十六世の女性として
三十八等ボンセ安永重郎

三十九等第三十七世の女性として
三十九等ボンセ安永西川福美

四十等第三十八世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第三十九世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第四十世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第四十一世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第四十二世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第四十三世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第四十四世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第四十五世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第四十六世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第四十七世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第四十八世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第四十九世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第五十世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第五十一世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第五十二世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第五十三世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第五十四世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第五十五世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第五十六世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第五十七世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第五十八世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第五十九世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第六十世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第六十一世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第六十二世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第六十三世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第六十四世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第六十五世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第六十六世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第六十七世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第六十八世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第六十九世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第七十世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第七十一世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第七十二世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第七十三世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第七十四世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第七十五世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第七十六世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第七十七世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第七十八世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第七十九世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第八十世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第八十一世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第八十二世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第八十三世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第八十四世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第八十五世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第八十六世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第八十七世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第八十八世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第八十九世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第九十世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第九十一世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第九十二世の女性として
四十等ボンセ安永和美

四十等第九十三世の女性として
四十等ボンセ安永重郎

四十等第九十四世の女性として
四十等ボンセ安永西川福美

四十等第九十五世の女性として
四十等ボンセ安永和美

咲く人類愛の花

悲嘆の底から救ふもの

ジユキア 罹災者へ伸びる温い手

サントス日本人會を中心に救濟運動

これがほん非やりたい

過般ジャキア線を襲った水害は、同方面に在住者が想後以上の大甚な被害であり、罹災者一同は、ジユキア線を興り、あるが、ジユキア線の表立サントス市日本人會は決然起つて罹災者救援運動を起し、着々その實を擧げている。天災によつて家を失い農

桑トス市内だけでも八コントス餘の據金があり、短

日時の間に斯くも莫大な献

金の集まつた例はサントス

市始まつて以来空前のこと

さして、最近誕生

トス日會の

発端によつて開始され

たものであるが、既に

トス日會の

私共もジユキア一帯のあ

の氣の毒な人々に少しだけ

思ひ出も樂し

同情と、心からの援助を受けた時、あの嬉しさは、絶対にも近い感に喚く。人々への物心両面よりも援助せざるにはいられないのです。貢の手を差し伸べることは全伯同胞の連帶責任でなくてはならない。貧者の一燈という言葉もある。金額の多寡にかかわらず廣範囲に亘つて同胞の暖かい物の両面よりの援助は罹災者一國の更生復活に一微の力も與えるものであろう。

の苦難を乗り越えて再建への力を與えるものでは、ないでしょうか。云々:

」

十日頃再び伯國へ

大阪丸・神戸丸より感謝の便り

皆様の熱誠溢る御歓迎に感謝致します。ブエノスアイレスへ向けて、翌約次の便な通信があつた

店主にて、夏目漱石

神戸丸乗組船員

ドクター並に善

田中等度關士

餘りにも懇意

な歓迎を受け

ました爲訣

別の碧良も特

氏より

市内に荷役を終り、

小妾を賣んで印度經由

本へ歸航致します。十月頃再び皆様にお目にかかることでしょう

野良大二匹でした。

发现された叢の中に美女の死体

暴行殺人の跡歴然



第四回 展覽會

主催 ブロミツソン
女子青年連盟

アズール植民地小學校於て開催された

芸品展覽會は去る二月廿五日、管下コレ。

益々繁昌の日本莊

心配ますご無用

平和の石燈籠も既に着工

この道に生く

去る二月廿三日發行の某紙に「喫きの日本莊」なる三段折の大見出し

で「千五百コントスで上地質却?」「國丁としてでも止まりたいと案

山子さん」の小見出上で、日本莊三アルケーレスの土塙が廢却される

ことになり、三好案山子さんを殺戮させているとの記事が載つたが

これが却つて宣傳になり、日本莊はその後益々繁昌しているとの便り

が日本莊經營者三好氏から送られて來た。

員舍山みどり、村上豊子、中央吉田昌典

左後方 安永良耕、清水準吉、宮崎茂松

父兄諸氏

山子さん

主婦と日本

の部会で暇が貰えず、主人

の所で働いているものと考

えていた、相方とも廿

六日別に氣にかけなか

たのである、ところが毎曜

日になつても両親の下に豪

の部会で暇が貰えず、主人

の所で働いているものと考

えていた、相方とも廿

六日別に氣にかけなか

たのである、ところが毎曜

日になつても

NOTICIAS DO BRASIL

Diretor Responsável SANEMI HARADA

Diretor Adminis. e Proprietário SEISAKU KUROISHI

Fundado em 1917

Redação, Administração e Oficina: Rua Heliotropos, 127 — Caixa Postal, 3148 — São Paulo

N.º 3.111

ANO XXXIV

SÃO PAULO, Quarta-Feira 4 DE ABRIL DE 1951

Circula às Segundas, Quartas e Sextas

四月の農事



情涼の秋風は肌に心地よく
既に多過ぎて困った雨も、
惜らしい病蟲害もモハヤ遇

其の損失が多いから

か

難作

け米の原因となり

減ずる性質が強いから、

國

中で

過

る

が

多く

の

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め

に

あ

る

が

よ

う

な

い

た

め